

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和4年 2月 22 日

事業所名: 光愛りんごハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動の内容によってテラスを有効に利用している。	・スペースが限られている為、今後も工夫して使っていきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・役割分担をして取り組んでいる。	・増員すればなおよい。・さらに増員されるとより安定した療育につながると思われる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・バリアフリー化については今後も検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・細めな消毒、掃除をその都度行っている。	・今後も消毒、清掃に努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・全員で参加、共有している。	・今後もこのベースを崩さず、試行錯誤を重ねて子どもにとって一番いい関わりを模索していきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・その都度報告し、職員へ周知されている。	・今後も職員間で共有し、さらに改善へとつなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・あまり浸透していない為、保護者への周知に努めていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者による外部評価ができていない為、今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・コロナ禍ではあるが、機会があれば研修などに参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・今後も保護者と課題を共有しながら支援につなげていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・今後も保護者にわかりやすく示していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・今後も職員間で共有して取り組んでいく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・今後も職員間で意見を出し合いながら立案していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節の行事等を取り入れ、他の活動も固まらないように工夫できている。	・同じ活動でも内容をさらに深めたり、違ったアプローチで働きかけているので、今後も工夫していきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			・今後も一人ひとりに合わせた形で立案作成していきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・指導案に基づいて打ち合わせをしている。・必ずミーティングを行い、親からの伝達を含め確認している。	・今後もよりよい支援の為に続けていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・気付いた点等、意見を話し合っている。・その日参加できない職員には後日振り返りの内容を共有している。	・今後もよりよい支援の為に続けていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・今後も日々の記録をとり、よりよい支援につなげていく。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・今後も相談支援専門員とも連携しながら計画を見直していく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		※該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		※該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・児発管からの情報や送迎時の伝達等を通して相互理解を図っている。	・今後もそれぞれの場所と情報共有、相互理解を図っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・今後も小学校や特別支援学校と情報共有、相互理解を図っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・今後も研修を受けたり、公開療育を利用してアドバイスを頂きたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・こども園の活動に参加している。	・今後もこども園の行事に参加する等して交流を深めていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・新型コロナウイルス感染拡大の為、会議等の開催も限られていたが、なるべく参加するよう努めた。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・今後も保護者と成長、課題について共有していく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		・ペアレント・トレーニングは行っていない為、今後検討していきたい。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・今後とも丁寧な説明を行っていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・今後ともわかりやすい説明を心掛けていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・今後とも保護者会の開催や面談を行っていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者会の内容共有に関して工夫していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・今後とも迅速に対応していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・今後とも発行し、周知に努める。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・今後とも十分に注意していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・絵カード等利用することがある。	・必要な際は絵カード等提示していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・地域のスーパーや公園を利用する活動を行っている。	・コロナウイルス感染拡大の為、できることが限られていた。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・掲示物等周知されていない所もある為、こちらから働きかけていく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・今後とも訓練を続けていく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・今後とも保護者と連携をとり、状況確認を行っていく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・今後とも食物アレルギーの児に関しては、医師の指示を仰ぎながら対応していく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・話し合いをし、周知している。	・職員間では周知しているが、保護者にも働きかけていきたい。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・今後とも職員間で共有していく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	・十分でない所がある為、再度確認して記載していく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)